

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	玄海町立値賀小学校		
2 所在地	東松浦郡玄海町大字今村6315番地2		
3 校長名	岩崎 一男		
4 学級数 児童生徒数	7学級 160人	5 実施学年 児童生徒数	2年 22人

6 取組のねらい

- 自分のまわりには、健常な人だけではなく、お年より・病気の人・さまざまなハンディキャップを持った人がいることを知る。
- どんな人たちにもくらしやすい社会でないといけないことを知り、すべての人が利用しやすい設備や製品（ユニバーサルデザイン）が、工夫・開発されていることに気づく。

7 取組の実際

- ① 絵本や新聞で、お年寄りや、ハンディキャップを持った人たちとことを知り、気持ちや不自由さを知ろう。
- ② ユニバーサルデザインということばや、自分のまわりにあるUDの建物、設備、製品、サービスなどをさがしてみよう。

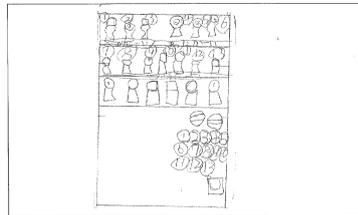


ユニバーサルデザインをさがそう

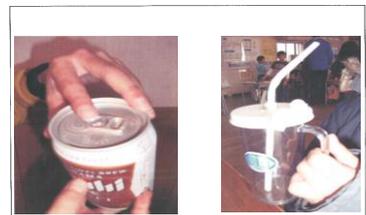
はっけんしたところやつかう人・つかい方など
お風呂のシャンプーのボトルのおすところにはギザギザがついているのでそれだけで目が見えない人もわかります。目が見えない人だけでなく目をつぶっているときにもシャンプーとリンスをまちがえません。



はっけんしたところやつかう人・つかい方など
ちょうせんかいかんにあります。小さい子や車いすの人が上はとどかないので番号をおせおしたのがわかります。小さい子や車いすの人も好きなジュースをかうことができます。



はっけんしたところやつかう人・つかい方など
① はっけんしたのは家で。かんの上につぶつぶがついていました。これで見がわる人も目が見えない人もとわがります。つぶつぶは、点字というのをやります。
② わたしまでものあるコップおきることかできない人も水をのむことが出来ます。



8 取組の成果と課題

- 自分たちのまわりや社会には、いろいろな人がいて、家や町にはUDがたくさんあることに気づくことができた。
- すべての人が住みやすい社会にならないといけないことを学習することができた。

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	玄海町立値賀小学校		
2 所在地	東松浦郡玄海町大字今村6315番地2		
3 校長名	岩崎 一男		
4 学級数 児童生徒数	7学級 160人	5 実施学年 児童生徒数	3年 33人

6 取組のねらい

ユニバーサルデザインという言葉について知り、その考え方を取り入れて作られて設備や製品について調べることで、ユニバーサルデザインについて理解を高める。

7 取組の実際

「ユニバーサルデザインについて調べよう」

- 1、ユニバーサルデザインとは何だろう？
- 2、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたものには何があるだろう？
- 3、テーマを決めて調べよう。

- | | |
|--------------|---------|
| ①考え方など | ⑤食品 |
| ②室内にあるもの（設備） | ⑥ゲーム・遊び |
| ③外にあるもの | ⑦点字 |
| ④生活用品 | ⑧手話 |

- 4、調べたことをまとめて発表会をしよう。



8 取組の成果と課題

- ・ひとりひとりが調べることで、ユニバーサルデザインの考え方などを理解することができた。
- ・発表会では、自分が調べていないことについても知ることができ、ユニバーサルデザインへの関心が高まった。
- ・実物を見たり触れたりすることがよりわかりやすく、理解しやすくなる。

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	玄海町立値賀小学校		
2 所在地	東松浦郡玄海町大字今村6315番地2		
3 校長名	岩崎 一男		
4 学級数 児童生徒数	7学級 160人	5 実施学年 児童生徒数	4年 26人

6 取組のねらい

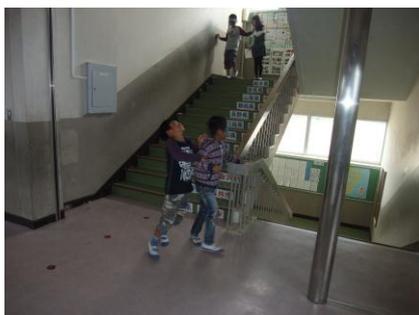
○世の中の様々な立場の人たちが等しく人権を持ち、豊かにくらししていくためにどのような取り組みがあるのかを知る。

○自分が問題とするテーマにもとづき、自分なりのユニバーサルデザインを考える。

7 取組の実際

①国語「だれもがかかわり合えるように」（9月第2週～10月第2週）

②ブラインドウォーク（10月5日⑤⑥）



介助者については、相手を思いやる気持ちで、声をかけながら、肩に手をさわらせながら、と基本の介助方法は伝えながら、校舎の1階から3階までを回ってくるというものだった。感想を聞くと、これまで何とも感じなかったところが急に怖いところになったと言っていた。途中、すれ違う他学年の児童もおり、一層思いが強くなったと思う。

③調べる。（10/12～11/9 7時間）

パソコンや書籍でUDについてイメージを持ち、調べたことをまとめて写真やグラフなどの資料を示しながら発表の準備をする。一人で発表しても数人のグループになって発表することも可として準備を進めた。

④交流する（発表会11/16 2時間）

調べたことを発表していった。

○障害者の数について ○日常生活におけるユニバーサルデザイン

（盲導犬、点字、点字ブロック、リモコンの点、左利きの人のための道具）

○自分たちが作った表示（老人ホームの看板）

8 取組の成果と課題

実際に体験してみて、不自由さや不便さを感じたことで、全ての人々が安心して暮らせることの意味を児童は実感していた。

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	玄海町立値賀小学校		
2 所在地	東松浦郡玄海町大字今村6315番地2		
3 校長名	岩崎 一男		
4 学級数 児童生徒数	7学級 160人	5 実施学年 児童生徒数	5年 26人
<p>6 取組のねらい</p> <p>UDについて知り、関心を持たせる。そのために調べ学習にとどまらず自分たちで「あったらいいな こんな道具」を考えさせる。</p> <p>7 取組の実際</p> <p>①インターネットでUDについて調べる。 UDの定義 UDの7原則</p> <p>②「あったらいいな」こんなものを考える。 生活をより豊かにするものや便利になるものなどを考えた。 事例</p> <p style="margin-left: 20px;">☐すでにあるもの</p> <p style="margin-left: 40px;">音声カーナビ 飲酒運転ができない車 自動で動く車いす 鍵が要らないドア 言葉を文字化する 音声で時間を知らせる時計</p> <p style="margin-left: 20px;">☐開発中のもの</p> <p style="margin-left: 40px;">人が運転しない自動車</p> <p style="margin-left: 20px;">☐まだないもの</p> <p style="margin-left: 40px;">家事ロボット 想像した言葉を話す装置 思ったことを文字化する装置 想像したものをイラスト化する装置 たたむまでの洗濯機 目が見えなくても安全に誘導してくれるナビ 車いすがベッドにもなる 足の不自由な人が歩行できる装置・ロボット 洗濯しなくてもよい服(省エネの視点)</p> <p>8 取組の成果と課題</p> <p>子どもの発想はドラえもん的な物もあったが、多くの児童は障害をかかえる人が他人の力に頼らなくても生活できるような道具を考えていた。また、すでに開発されているようなものも多かった。人の願望や想像力がさまざまな便利な道具を産み出していることが子どもの発想からも分かる。</p>			

